

科目区分：教職に関する科目 授業科目名：初等算数  
担当教員：藤本 義明

## 初等算数 の授業評価

所属講座：数学教育 氏名：藤本義明

### 1. 授業評価の方法

#### (1) 概要

Bグループ(国語科を含む)の42名の授業受講者を対象とし、授業最終日の試験と同時に、授業評価を行なった。

#### (2) 評価方法

無記名のアンケート方式で行った。質問項目の問1・問2は点数で評価させ、問3は授内容の意義や有用性のつかみ具合を知るために、自由記述で尋ねた。

#### (3) 評価項目

評価のアンケートは、次のようである。

①問1～問5・・・点数による評価

<5：そう思う～1：そう思わない>

問1：私はこの授業に意欲的に取り組んだ。

問2：各章について

- 1 この章の内容は興味深かった

第1章 数

第2章 数での算数的活動

第3章 図形

第4章 図形での算数的活動

- 2 この章の内容は難しかった

第1章 数

第2章 数での算数的活動

第3章 図形

第4章 図形での算数的活動

②問3～問5・・・自由記述

問3：数学の内容について

- 1：偏差値の意味や有用性はどの程度つかめましたか。

- 2：相関係数の意味や有用性はどの程度つかめましたか。

- 3：球面幾何と地球儀の見方の関係はどの程度つかめましたか。

問4：この授業の感想・自分の反省

問5：授業改善のための提案

### 2. 結果

(1) 問1・問2 の平均と標準偏差

問の表記法：2-1-1は、「問2-第1章-質問項目1」を表している。

問	1	2-1-1	2-1-2	2-2-1	2-2-2
平均	3.6	3.7	3.3	3.8	2.8
標準偏差	0.6	0.7	0.9	0.8	0.9

問	2-3-1	2-3-2	2-4-1	2-4-2
平均	3.1	3.8	3.5	3.2
標準偏差	1.0	0.9	0.8	0.8

(2) 問3について

- 1：概ね、偏差値の計算は出来て、偏差値の意味や有用性もある程度つかめたという回答が多かった。

- 2：相関係数の計算は出来るようになったが、その意味や有用性はつかめていないという回答が多かった。

- 3：球面幾何の知識や技能はある程度出来るようになったが、地球儀の見方との関連性はつかめていないという回答が多かった。

(3) 問4について

算数科教育法との区別がされていない感想が見られた。

### 3. 分析

(1) 問1・問2

授業の主旨からして、少し難しいくらいが目標となるので、結果は妥当な範囲と考える。

(2) 問3・問4

問3について、各内容の意義のつかみ具合については、受講者の個人差がきわめて大きいと言える。

尚、問5については、本授業は本年度で終了するので省略する。

科目区分：大学院

授業科目名：フィールド演習

担当教員：藤本 義明・平田 浩一

## フィールド演習(後期)の授業評価

所属講座：数学教育 氏名：藤本義明

### 1. 授業の概要

\*受講生 3名

\*内容

1回：全体オリエンテーション

2～6回：教材研究・・・①

7～9回：指導案作成・・・②

10～12回：授業・・・・・・・・③

13回：まとめ・・・・・・・・④

14・15回：全体発表会・・・⑤

### 2. 評価方法

方法としては、授業の経過に合わせ、以下の質問項目に文章形式で回答させた。

①について

問1 この期間の有効性についてどう思うか

問2 この期間についての感想・意見

②について

問3 この期間の長さのについてどう思うか

問4 この期間の感想・意見

③について

問5 附属との連携の改善点は何か

問6 この期間の感想・意見

④について

問7 この期間の感想・意見

⑤について

問8 この期間の感想・意見

### 3. 結果

問1：\*授業の構成のための時間（指導案作成の時間など）は確かに必要であるが、この期間に実際の授業の様子を参観できる機会があってもいいと思う。

\*試行錯誤しながら授業を考えることができたので有効だと思う。

問2：\*もっとさまざまな案を出すことが大

切だと感じた。

問3：\*3回ぐらいがやはり適切だと思う。

問4：\*前半は教材についての検討、後半は授業構成などについての検討というように、絞って取り組めばさらに能率が上がると思う。  
\*期間が長いとは思わないが、この期間に一度附属の先生に指導案等を見ていただくべきだと思う。

問5：\*教育実習のように、定着するようにならないものか。

\*事前に授業クラスの授業を見学に行き、授業中の雰囲気など生徒を知ることが必要だと感じた。

問6：\*自由に授業参観をさせてもらい、少し程度のコメント(授業のねらいや意図など)をいただけたらありがたい。また、授業後に協議する時間をとってもらえたらありがたい。

\*できれば1回きりではなく、2・3時間を通じて授業を行いたいと思った。

問7：\*附属学校の先生たちを交えて、協議、指導をしてもらえたらいいと思う。

\*3人が別々の授業を行ったので、一人当たりの時間がかかり短く思った。

問8：\*各グループの取り組みにばらつきがあったので、中間発表を行うとか、相互に授業実践を観察し合うなどの刺激があってもいいかもしれない。

\*発表資料の中に授業の指導案は必要かもしれない。

### 4. 分析とまとめ

はじめてのことで、試行錯誤のくりかえしであった。アンケートにある院生の希望も汲んで、次回に生かしたい。